

## 第40回 全日本杖道大会要領

### 1. 試合方法

- (1) あらかじめ2人1組を抽選により、トーナメント方式にて、初段・二段・三段の部は準決勝まで行い、四段・五段・六段・七段の部は1位、2位を決める。
- (2) 判定は仕・打交代して勝敗を決める。
- (3) 2人1組の選手は、同段位とする。

### 2. 演武の本数と指定技

#### (1) 段別個人試合

演武本数は、各段位とも6本とし、指定技は下記のとおりとする。

初段の部	①着杖	②水月	③引提	④斜面	⑤左貫	⑥物見
二段の部	①水月	②引提	③斜面	④左貫	⑤物見	⑥霞
三段の部	①引提	②斜面	③左貫	④物見	⑤霞	⑥太刀落
四段の部	①斜面	②左貫	③物見	④霞	⑤太刀落	⑥雷打
五段の部	①左貫	②物見	③霞	④太刀落	⑤雷打	⑥正眼
六段の部	①物見	②霞	③太刀落	④雷打	⑤正眼	⑥乱留
七段の部	①霞	②太刀落	③雷打	④正眼	⑤乱留	⑥乱合

\* 初段・二段・三段の部は、決勝戦を行わない。

\* 演武は、① ② ③ ④ ⑤ ⑥の順に行い、前半3本で「仕・打」交代し、後半3本を行う。

#### (2) 個人演武（全剣連杖道の部）

演武本数は、七段・八段とも5本とし、仕・打交代せず指定技は下記のとおりとする。

共 通 ①太刀落 ②雷打 ③正眼 ④乱留 ⑤乱合

#### (3) 個人演武（古流の部）

演武本数は、七段・八段とも5本とし、技は任意とする。

### 3. 審判方法

- (1) 審判員は、3名を以って構成する。
- (2) 勝敗は、3名の審判員の多数決による。
- (3) 全剣連杖道「審判上の着眼点」による。
- (4) 主審は、試合者が開始線の位置について時、「始め」と宣告して試合を開始させる。
- (5) 試合の終了と同時に、審判員は起立し、主審の「判定」の合図により、三者同時に意思表示する。
- (6) 主審は、「赤（白）の勝ち……勝負あり」と宣告する。

### 4. 服 装

- (1) 審判員は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に付けること。
- (2) 段別個人試合および個人演武出場者は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に名札を付けること。

以 上